

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 19 年 7 月 5 日 (2007.7.5)

【公開番号】特開 2001-32061 (P2001-32061A)  
 【公開日】平成 13 年 2 月 6 日 (2001.2.6)  
 【出願番号】特願 2000-152243 (P2000-152243)  
 【国際特許分類】

**C 2 3 C 10/08 (2006.01)**

**F 0 1 D 5/28 (2006.01)**

【F I】

C 2 3 C 10/08

F 0 1 D 5/28

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 5 月 23 日 (2007.5.23)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

ニッケルを主材とする基体およびコバルトを主材とする基体の表面上に拡散アルミニウム化合物コーティングを同時に形成するための方法であって、ニッケルを主材とする基体およびコバルトを主材とする基体をチャンバに入れ、次いで前記ニッケルを主材とする基体およびコバルトを主材とする基体を、50～60重量%のアルミニウムを含有するアルミニウム含有供与体と、チャンバ容積 1 リットル当たり少なくとも 1 グラムの量でチャンバ内に存在するフッ化アルミニウムからなるハロゲン化アルミニウム賦活体とを用いて、不活性または還元性雰囲気中 1038～1950 (1900～1950 °F) で 4.5～5.5 時間の間行われる気相蒸着プロセスにかけて、前記ニッケルを主材とする基体およびコバルトを主材とする基体上に拡散アルミニウム化合物コーティングを形成することを含んでなり、前記ニッケルを主材とする基体およびコバルトを主材とする基体の上に形成される拡散アルミニウム化合物コーティングの厚さが互いに 30% 以上異なることがない方法。

【請求項 2】

アルミニウム含有供与体が  $\text{Co}_2\text{Al}_5$  を含んでいる、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

アルミニウム含有供与体が  $\text{Co}_2\text{Al}_5$  から成る、請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記ニッケルを主材とする基体およびコバルトを主材とする基体がガスタービンエンジン部品の部材である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 5】

ガスタービンエンジン部品が、ニッケル基超合金の翼形と、コバルト基超合金の内側バンドおよび外側バンドとを有する高圧タービンノズルである、請求項 1 記載の方法。